



2年学年だより

発行日：令和5年2月28日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 10

令和4年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校12期生適性検査、南高校70期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和4年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和4年度も残りひと月、よろしくお願いたします。

いざ、旅立ちのとき

3年学年主任 福田 由美

国語の授業で「旅立ちのスピーチ」に取り組みました。「自分の強み」と「どんな高校生活を送りたいか」を軸に、4月からの自分の姿を一人ひとりが考えました。そのなかで「自分の強みは、周りの良いところを自分の中に取り入れられるところ。9期生のみんながいてくれたからそんな自分になれた」と語られ、教室が温かさや誇らしさで包まれました。ふりかえれば、入学式直後に休校を余儀なくされた9期生。学校で友だちとともに過ごすことを願い、その嬉しさを実感している9期生。相手を尊重し、互いに高め合っていく心優しい集団に育ちました。

今年度は少しずつ学校行事が再開されました。初めて取り組む行事も、中学校の最高学年として後輩たちの範になりたいと準備も運営も頑張りました。京都研修旅行ではこれまでの3年間を取り返すように、笑顔がはじけていました。新たに活動をすればするほど9期生の秘めたる可能性を感じます。世の中の霧も薄らいできました。霧の奥に見える光を目指して、9期生の可能性を信じあって、いざ、旅立ちのとき！

まずは行動してみよう

2年学年主任 朝比奈 康江

今年度は、それまでコロナ禍で縮小されていた行事が徐々に復活し、学校生活にも活気が戻ってきた気がします。イングリッシュキャンプでは、チャレンジ精神が旺盛で、とにかくやってみようというみなさんの姿勢が絶賛されました。体育祭や合唱コンクール、南高祭でも活躍の機会が増え、互いに仲間の新たな一面を見ることができたことでしょう。

みなさんの年代に「失敗」はありません。思い通りの結果が出なくても、周りに迷惑をかけてしまっても、そこには必ず「学び」や「気づき」があるはず。原因を探り、課題を解決したその先を見据えて行動していけばよいのです。

行動することを惜しまず、恐れず。やって後悔するより、何もしないで後から「あのとき～しておけばよかった」と思う方が残念なものです。まもなく附属中の最上級生になる10期生のみなさん。来年度は、今まで以上に「行動する」ことに挑戦していきましょう。

「今」を大切に

1年学年主任 三井 俊文

2022年は、サッカーにおける4年に1度の祭典、「ワールドカップ」がドーハで開催されました。日々繰り返される熱戦や日本代表の大躍進に心を躍らせた人も少なくないのではないのでしょうか。日本代表選手がワールドカップ初戦（初戦は強豪ドイツに2-1で劇的勝利）終了後にこんな発言をしていました。「この日、この瞬間のためだけに4年半前から準備してきた」と。目標を決めてそこに向かって努力することの大切さや、今という時間は過去の積み重ねであるということ、改めて気づかせてくれる言葉だなと思いました。

みなさんの中にもこの学校に入学するにあたって目標を決めた人も多いのではないのでしょうか。その目標を達成できた人も達成できなかった人も、そして目標を決めなかった人も、人との出会いや経験した出来事の積み重ねが今につながっていることは変わりません。11期生のみなさんにはぜひ目標を決めて、「今」というこの時間を大事にし、素敵な未来を形作ってほしいと思います。

さあみなさんは5年後、どんな自分になっていたいですか。願わくは素敵な未来が待っていますように。

職業調べ発表会

2月21日(火)の7校時に昨年12月から取り組んできた、職業調べ学習の発表会が行われました。冬休み中にお子様からインタビューされたご家庭もあるのではないのでしょうか。どの生徒も詳しく調べてきた内容をどこか誇らしげに発表する姿が印象的でした。生徒たちが調べてきた職業と興味を持った理由、感想を一部紹介したいと思います。

【看護師】

人のためにする仕事だから人の前にいるときは笑顔でいえないといけなのに、夜勤などで疲労や悩みがある時は大変そうだなと感じた。



【管理栄養士】

家庭科や理科で栄養素や、消化・吸収・処理の授業が楽しかったので興味が湧いた。困難なく生活するには仕事を続ける必要がある。そのため、楽しめ、好きになれる仕事につくことが大切だと思った。今まで家にこもっていることが多かったが、いろいろなところに行き、様々なことを経験してやってみたいことを探したいと思った。

【飲食店の店員】

飲食店の店員では礼儀・マナーがしっかり学べると聞いていたから前からやってみたかった。しかし、今回調べていくなかで、なんとなくこういう仕事は向いていないなとも感じた。やりがいも大事だけど生活していくためにお金も大切だなと思った。

【教師・看護師・キャビンアテンダント】

どの仕事もとても大変そうだった。けれど、表で人と対面することでのやりがい、陰でも自分の知識・能力を活かして社会を支えているのがとてもいいなと感じる。色々な職業があって、どこかで繋がっていて面白いと思った。世の中そんな風に回っているのだと実感した。また、自分はいろいろな人とコミュニケーションをとっていききたい。

EGG ミニ論文発表会

2月25日(土)の土曜 EGG において、2年生の EGG 活動の集大成として、「ミニ論文発表会」が実施されました。

[EGG ゼミ学習テーマ]

～課題をめぐる多様な視点や立場を知り、それぞれの視点や立場にはどのような主張があるのか明らかにした上で、この先、私たちはどのような視点や立場で、その課題に対してどのような行動をおこしていくべきなのか、提案を行う～ 生徒の EGG ゼミ 1 年間の振り返りを一部紹介します。



私は、ベジタリアン(フードダイバーシティ)をミニ論文のテーマとして、3つの視点から自分の意見を示すことができました。インターネットだけでなく、クラスのアンケートや新聞の情報からも根拠を提示できました。ベジタリアンについて理解を深めることは、私たちにもできると思うので、この論文を機に、知識を身につけていきたいです。

自分の意見を持つことも大切ではありますが、様々な視点で物事を考えることで、自分の考えをより深めたり、また新たな発見につながったりできることを学びました。また、文章を書く際に、事実と自分の考えを区別する力や、適した情報を集める力も身につけることができたと思います。 3組 女子

第Ⅰ期では様々な視点での意見を集め、第Ⅱ期ではそれをまとめ、分かりやすくした。第Ⅲ期で論文を書く際、自分が思ったのは第Ⅱ期での内容では5枚も満たないということだ。そのため、第Ⅰ期で得た情報を第Ⅱ期の内容に足したことで自分はミニ論文を完成させた。テーマ自体は多様な視点が存在していたため、1つ1つの考えをまとめつつ、自分の考えを表現できたと思う。

自分は様々な視点の意見を捉え、自分の意見、結論を出せるようになったと思う。第Ⅱ期、第Ⅲ期ではどちらも最後に結論として自分の考えをわかりやすく表した。また、それまでに説明したことを用いて理由も加えられたため、情報をもとにそれをまとめ、1つの意見を出せたらと今回感じる事ができた。 2組 男子

道徳リレー

12月から「道徳リレー」と題して、2年生担当の7人の先生で、道徳の授業を担当しました。先生方がそれぞれに授業を用意し、4クラスで実施したので、計7回シリーズとなりました。

そのうちの一つ、「みんなは何色ですか？」の授業について、紹介させていただきます。

【授業展開】

①ミスチルの「GIFT」を鑑賞する。

(^^♪ 一番きれいな色って何だろう？～♪)

②「グループのメンバーに当てはまる色を考えよう！」

- ・どんな色が似あうだろう？・一色じゃないなあ！
- ・白と黒はなしね

③グループ内でイメージカラーを共有

- ・そうだよねー、一緒！・私ってそんな感じなの？・確かに、それありかも！

④お互いにイメージしたカラーのしおりを創り合う。絵具、色鉛筆、ポスカなど。イラスト、キャラクターは無し。

【生徒が創ってくれました】

^^♪ 君に似合う色探して やさしい名前をつけたなら ほら一番きれいな色 今 君に送るよ！～♪



朝比奈先生 山口先生 高仁先生 古谷先生 西尾先生 小野寺先生 山形先生

【姫のひとりごと】

3年生へのカウントダウンが始まりました。この一年を振り返りつつ、さらなる高みを目指し、感謝の気持ちを持って、クラスメイトと過ごす日々を大切にいきましょう。